

平成29年度 総合特別区域評価結果一覧

参考 3

- ・総合評価は、「目標に向けた取組の進捗に関する評価」、「支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価」及び「取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価」を1:1:2の比率で算出。
- ・評価点数は5.0点が満点。

分野	指定 次数	国際/地域	特区名	総合 評価	
国際戦略総合特区	1	国際	7	グリーンアジア国際戦略総合特区	4.6
	1	国際	5	アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区	4.6
	1	国際	1	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区	4.4
	1	国際	4	京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区	4.2
	1	国際	2	つくば国際戦略総合特区	3.6
	1	国際	3	アジアヘッドクォーター特区	3.6
	1	国際	6	関西イノベーション国際戦略総合特区	3.5
グリーンイノベーション	1	地域	16	あわじ環境未来島特区	4.7
	1	地域	13	次世代エネルギー・モビリティ創造特区	4.7
	1	地域	3	レアメタル等リサイクル資源特区	4.6
	1	地域	23	次世代型農業生産構造確立特区	4.3
	1	地域	7	柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区	3.7
	1	地域	6	次世代自動車・スマートエネルギー特区	3.5
	3	地域	37	ながさき海洋・環境産業拠点特区	3.4
	1	地域	19	たたらの里山再生特区	3.2
	1	地域	4	栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区	1.7
ライフイノベーション	1	地域	11	ふじのくに先端医療総合特区	4.2
	2	地域	30	先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区	3.9
	2	地域	28	みえライフイノベーション総合特区	3.9
	1	地域	7	柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区	3.8
	3	地域	33	さがみロボット産業特区	3.8
	1	地域	26	東九州メディカルバレー構想特区	3.6
	1	地域	10	とやま地域共生型福祉推進特区	3.6
	1	地域	24	かがわ医療福祉総合特区	3.6
	3	地域	35	岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区	3.4
	4	地域	38	群馬がん治療技術地域活性化総合特区	3.1
1	地域	15	国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区	3.1	

分野	指定 次数	国際/地域	特区名	総合 評価	
アジア拠点化・国際物流	3	地域	33	さがみロボット産業特区	4.1
	1	地域	12	未来創造「新・ものづくり」特区	3.9
	1	地域	20	ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区	3.5
	3	地域	37	ながさき海洋・環境産業拠点特区	3.2
観光	1	地域	17	和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区	4.1
	3	地域	36	九州アジア観光アイランド総合特区	4.1
	1	地域	14	京都市地域活性化総合特区	4.1
	4	地域	40	奈良公園観光地域活性化総合特区	4.0
	1	地域	15	国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区	3.4
	4	地域	41	千年の草原の継承と創造的活用総合特区	3.3
農林水産業	1	地域	16	あわじ環境未来島特区	4.3
	1	地域	2	森林総合産業特区	4.0
	1	地域	12	未来創造「新・ものづくり」特区	3.6
	1	地域	23	次世代型農業生産構造確立特区	3.6
	1	地域	18	「森里海連環 高津川流域ふるさと構想」特区	3.5
	1	地域	19	たたらの里山再生特区	3.3
	4	地域	41	千年の草原の継承と創造的活用総合特区	3.1
	2	地域	27	競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区	2.6
	3	地域	34	ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区	4.6
まちづくり等	1	地域	7	柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区	4.1
	1	地域	8	持続可能な中山間地域を目指す自立の地域コミュニティ創造特区	4.0

: 複数分野にまたがる事業を実施する特区

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(2/11)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区(徳島県)	3.9	4.7	3.4	3.8	<p>・寄附講座の設置・継続や糖尿病連携手帳を活用する医療機関数の増加等、全体として良好な進捗状況と評価する。医師不足対策や糖尿病重症化予防は、実質的な効果を上げるまでに時間がかかると思われるが、将来に向けての体制強化が着実になされている。</p> <p>・評価指標(2)糖尿病対策の推進の数値目標については、現段階では、管理栄養士による栄養指導導入医療機関数(代替指標)ではなく、糖尿病対策の推進に係るアウトカム指標を設定するのが妥当と思われる。</p> <p>・糖尿病克服モデルの構築に関しては、構想と実施計画を見直し、明確にする必要があるとともに、地域医療の再生との有機的な関連付けが望まれる。</p> <p>・一見健常と思われる、または健常と考えている県民を対象にした糖尿病発症の予防事業や、それを評価するための指標が必要である。</p>
		<p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師不足対策の推進 110% ・糖尿病対策の推進 119% ・外国人宿泊者数 138% 	<p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い等 ・<u>財政支援等</u> ・寄附講座設置事業 ・医師修学資金貸与事業等 ・<u>地域独自の取組</u> ・とくしま経済飛躍ファンドによる研究開発支援等 		

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(10/11)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
群馬がん治療技術地域活性化総合特区 (群馬県)	3.1	3.6	2.9	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・重粒子線/X線・免疫療法等を組み合わせた治療症例の増加など、重粒子線治療を中核として先進医療の開発が進んでいることは評価できる。しかし、この症例数では、臨床試験として既存の治療法との比較試験に発展させることは困難であるため、多施設共同研究としての臨床試験計画の作成が急務である。 ・重イオンマイクロサージェリーの臨床試験の実現については、計画の見直しを含めた柔軟な対応をお願いしたい。 ・放射線医療人材の養成や、重粒子線治療での国外患者の受入・がん検診での外国人受入の実績が低調であることが懸念される。戦略の抜本的な見直しが必要である。 ・評価指標間での進捗度のばらつきが大きいことは、それぞれの取組の関連性が弱いことを示していると考えられる。プログラムの関連性を高める方向での努力を期待したい。
		<u>進捗度</u> ・重イオンマイクロサージェリーの臨床試験の実現 ≪定性的評価≫ ・重粒子線/X線治療・免疫療法等を組み合わせた治療の実施 540% ・がん医療関連製品の開発 100% ・放射線医療人材の育成 67% 等	<u>規制の特例等</u> ・高精度重粒子線がん治療技術開発事業 <u>地域独自の取組</u> ・医療機器・介護機器等事業化支援補助金 ・医療・ヘルスケア関連事業化支援補助金等		